

「港湾を兵站基地にするな！」 「港湾労働者と戦争を考える」

岸田政権は軍拡財源に雇調金にまで手をつけた！

岸田政権は、とうとう軍拡財源のため雇調金にまで手をつけた。24年度予算案で労働保険特別会計から1964億円を防衛力強化特別会計受入金に繰り入れ、防衛力整備計画対象経費の財源に充てるとしている。

防衛費は概報のとおり、23年度から5年間で43兆円もの防衛力整備計画を立てているその一環とみられている。

加えて、大軍拡に対する大増税や社会的補償制度の改善をしかけようとする岸田政権に対し、我々国民は



田政権に対し、我々国民は「能登半島地震対策委員会」を設置し現地の仲間の生活、雇用・職域の確保にむけ全力で取り組みを開始している最中である。また、この雇調金については一連のコロナ禍で設けられた雇調金特別措置の残余金とみられる。

信じられるだろうか。元旦に能登半島地震によりライフラインをはじめ多様な致命的な被害を現地では受けたにもかかわらず、どういった神経でこのような暴挙を横行させようというのか。

そして、いま全国港湾は『NO!』をつきつけ、社

クイズ正解発表

全国港湾第370(新年)

号に掲載された「辰年クロスワード」に多数のご応募ありがとうございました。正解は、『トウリュウモン(登竜門)』でした。

今年のクイズへの応募正解者は、14名でした。全国港湾は、昨年、結成50周年を迎えました。

今回に限り、抽選でその記念の品を粗品とすることを決定致しました。発送をもって発表にかえさせて頂きに感謝申し上げます。今後ともよりよい機関紙を目指してまいります。

また、皆さまから寄せられた貴重なご感想・ご意見で、宜しくお祝い致します。

たのは、2010年のこととで、その具体的な内容に踏み込んで合意を見たのは2012年春闘になります。

第10章「安全・衛生・職業訓練・福利厚生」の第51条「石綿対策」に進みます。今回は、石綿の危険性、被害の対策と労使協定に至った経緯を紹介いたします。

石綿(アスベスト)は、天然の線維性の鉱物です。断熱性・耐火性に着目されて、その多くは建材・配管・保温材・自動車のブレーキなど幅広く使われてきました。そして、腐りにくく電気も通さないという特性から「奇跡の鉱物」ともはやされてきました。しかし、発がん性物質で、その粉塵を吸い続け、それが肺に溜まることで、肺がんや中皮腫(胸膜・腹膜の癌)を引き起こします。これ以外に、石綿肺といった職業病も引き起こします。

1970年代は、船で運ばれてきた石綿は、多くが麻袋で輸入され、手鉤を使うと麻袋は破れ、破れたところから石綿がこぼれ落ち、また粉塵となって舞い上がり、本船だけでなく、岸壁・倉庫内にも粉塵が舞っていました。

一方、世界では早くから石綿の危険性が指摘され、イギリスでは、1969年に麻袋は禁止され

港湾産別協定50

～第10章51条石綿対策～

また、皆さまから寄せられた貴重なご感想・ご意見で、宜しくお祝い致します。

たのは、2010年のこととで、その具体的な内容に踏み込んで合意を見たのは2012年春闘になります。

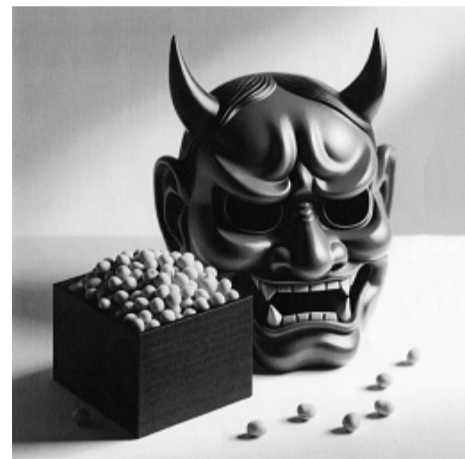
ここに至る大事なポイントには、石綿被害の第一義的責任は国にあることと認識で一致していることです。そのうえで、全国港湾は、産業別の労災企業上積補償制度を求めましたが、交渉は難航し、結果として、日港協会員店社が、石綿被害者に、その補償のために金銭的支出をした場合に、日港協がその一部を補助する制度となりました。対象者は、石綿ばく露作業に従事(職種や雇用形態、関節・直接被ばくを問わず)したことが原因で労災認定を受けた労働者としています。

以上が、石綿被害とその対策に至る経緯です。国に責任があるとの労使の認識から、行政を交えた対策の協議を進めたい、この協定をふまえて、各地区での対策が始まります。今回は、紙面の都合上、協定そのものには触れることはできませんので、次回に協定本文や、地区の取り組みも紹介し、この協定のポイントを紹介していく予定です。

皆様、初めまして。昨年の教習部員として活動しておられます、日港労連の古澤です。初の随筆作成とあり、読みにくい部分等、多々あるかと思いますが、お付き合いの程、宜しくお願ひ致します。

さて、私の趣味を簡単に紹介致しますと、港湾労働者らしく「ギャンブル」であります。無論、生涯収入は大幅にマイナスで御座いますが(笑)その中でも競馬を楽しんでおります。

私の趣味の話はさておき、少し季節は過ぎますが、



皆様方は「節分の豆まき」はされたでしょうか?豆まきの始まりは古く、室町時代からと言われており、古代中国から伝わった「道」では「落花生」を使用しているのではと

「能登半島地震対策委員会」を設置し現地の仲間の生活、雇用・職域の確保にむけ全力で取り組みを開始している最中である。また、この雇調金については一連のコロナ禍で設けられた雇調金特別措置の残余金とみられる。

信じられるだろうか。元旦に能登半島地震によりライフラインをはじめ多様な致命的な被害を現地では受けたにもかかわらず、どういった神経でこのような暴挙を横行させようというのか。

そして、いま全国港湾は『NO!』をつきつけ、社

今年も「春闘」が幕を開けました。きつと厳しい戦いが想定されるでしょう。しかし「団結」のもと、皆様方に「フクキタル」ことを祈念いたしまして、リレー随筆を閉じます。今回は石渡委員です。

今年も「春闘」が幕を開けました。きつと厳しい戦いが想定されるでしょう。しかし「団結」のもと、皆様方に「フクキタル」ことを祈念いたしまして、リレー随筆を閉じます。今回は石渡委員です。

今年も「春闘」が幕を開けました。きつと厳しい戦いが想定されるでしょう。しかし「団結」のもと、皆様方に「フクキタル」ことを祈念いたしまして、リレー随筆を閉じます。今回は石渡委員です。

今年も「春闘」が幕を開けました。きつと厳しい戦いが想定されるでしょう。しかし「団結」のもと、皆様方に「フクキタル」ことを祈念いたしまして、リレー随筆を閉じます。今回は石渡委員です。

こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop